

岐阜セラツクが新工場

大野町 高機能添加剤生産強化

天然・合成樹脂、コーティング材用添加剤の製造販売を手がける岐阜セラツク製造所(岐阜市加納西丸町、尾木大社長)は、揖斐郡大野町公郷に同社5番目の工場となる大野鷲工場を建設し、1月下旬から稼働を始めた。スマートフォンやゲーム機などの表面コーティング剤に必要な特殊高機能性添加剤の生産体制の強化を図り、今後の需要増加に対応する。(山本貴史)

工場の敷地面積は約1万6400平方メートル。鉄骨4階建て、延べ床730平方メートルの生産プラントのほか、倉

庫2棟、事務所棟などを建設した。投資額は非公表。特殊高機能性添加剤は、スマホ、タブレット端末といったモバイル製品やパソコン、ゲーム機など幅広い製品のコーティング剤に使われ、製品の表面を傷から守り、滑らかな感触にする。以前から同社の鶴工場(岐阜市東鶉)で生産しているが、生産拠点の分散化、需

要増への対応を目的に、鶴工場と同等の規模を持つ新工場を建設した。新工場は環境面にも配慮し、省エネ設備の導入、冷却水の再利用、発光ダイオ

ード(LED)照明などを採用。また、大野町と協定を結び、災害時は敷地の一部を避難場所として住民に提供する。

工場敷地内では今後、第2期工事に着手し、来年中に別の生産プラントも建設する予定。同社は「新工場の稼働によりさらなる安定供給体制を構築したい。激変する世の中に貢献する高機能性材料の生産拠点にする」としている。



1月下旬に稼働を始めた大野鷲工場。揖斐郡大野町公郷